



静岡市 いきもの 散歩マップ

麻機遊水地コース 麻機遊水地第3工区

しょくぶつ

● ミズアオイ



沼や田んぼに見られる植物で、7～10月に青紫色の花を咲かせます。近年、農業などの影響で数を減らしています。

● ハス



7～8月に大きな桃色の花を咲かせる水辺の植物です。根はレンコンの名で知られ、食用とされています。

● オモダカ



田んぼや溜め池に見られる植物で、8～10月に白色の花を咲かせます。矢じりのような形の葉が特徴です。

● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

● ヒメガマ



水辺に群生する植物で、葉がガマよりやや細くなります。夏にソーセージのような形をした、茶色の花をつけます。

● タコノアシ



水辺に育つ植物で、小さな花がたくさん並ぶ様子が「吸盤のついたタコの足」に似ていることから、この名があります。

● サクラタデ



陽当たりの良い湿地や水辺に生える植物で、8～10月に薄い桃色の小さな花を咲かせます。

● オギ



ススキに似ていますが、オギは茎が1本ずつ生えます。ススキは乾いたところに、オギは湿ったところに生えます。



むし

● アキアカネ



はねを広げると6cmくらいで、ナツアカネと違って、頭や胸はあまり赤くなりません。成虫は6～12月に見られます。

● ショウジョウトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボで、成虫は6～12月に見られます。オスは赤い、メスは黄褐色の体をしています。

● コシアキトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボです。黒色のお腹の一部分は白くすけて見えます。成虫は5～10月に見られます。

● ベニシジミ



タデ科のスイバやギシギシのある堤防や畑のまわりで、春のはじめから見ることが出来ます。

● ウチワヤンマ



はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5～9月に見られます。

● チョウトンボ



はねを広げると7cmくらいで、青く幅広いはねでチョウのようにヒラヒラ飛びまわります。成虫は5～9月に見られます。

● キタキチョウ



主に林のまわりに住み、成虫で冬を越すため、ほぼ1年中見ることが出来ます。幼虫はマムシ科の植物を食べます。

● オオスズメバチ



日本最大のスズメバチで、日本のハチでは最も強い毒を持ちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。



アクセス情報



【バスでのアクセス】

1. しずてつバス静岡駅前北口バスターミナルより「こども病院(麻機)行」に乗車
2. 「流通センター」もしくは「こども病院」にて下車(静岡駅より約30分)

野鳥観察小屋付近に若干の駐車スペースがありますが、遊水地にはできるだけ公共の交通機関をご利用下さい

緊急連絡先

- ・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・消防 119番
- ・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL:054-221-1357 FAX:054-205-2666
 制作年：平成25年3月

とり・どうぶつ

● オオヨシキリ



ヨシの間で「ギョギョシ、ギョギョシ」とかたましく鳴きます。春に日本へやってくる渡り鳥です。

● ミサゴ



ガラスくらいの大きなタカです。海岸や河川などの上空を飛びまわり、水に飛び込んで魚をつかまえます。

● コアジサシ



ハトより小さく、ぼっそりとした鳥です。海や川、湖沼の上を飛びまわり、空中から水に飛び込んで魚をつかまえます。

● ノビタキ



スズメより小さな鳥で、静岡では春と秋だけに見られます。飛んでいる昆虫などを空中でつかまえて食べます。

● モス



スズメより大きな鳥です。「キリキリ」「キィキィ」「キチキチ」など高い声でさまざまに鳴きます。人家の庭先でも見られます。

● カイツブリ



ハトより小さな水鳥です。全国の池や湖にすんでいて、水中に潜って魚をとって食べます。

● カワラヒワ



スズメくらいの大きさで、飛ぶと翼に黄色い模様が見られる小鳥です。雑木林などで見られます。

● カワセミ



静岡市の鳥です。スズメより少し大きく、あざやかな水色をしています。水中に飛び込んで、魚をとって食べます。

● ニホンノウサギ



全身は茶色ですが、お腹だけが白い色をしています。主に夜に活動して、葉や芽や枝などを食べます。

● アオダイショウ



全長1～2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。

● ツチガエル



茶色の小さなカエルで、背中にたくさんのイボがあります。田んぼや池、河川敷などにすみ、「ギョウギョウ」と鳴きます。

● オイカワ



全長10cmほどの川魚です。繁殖期の5～8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれが赤色をおびます。

● カヤネズミ



日本最小のネズミです。低地の湿地や田んぼにすみ、ススキなどの葉で球形の巣をつくって子育てをします。

● クサガメ



甲長10～25cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色い模様があり、甲羅には3本のタデシがあります。

● アズマヒキガエル



体長9～15cmになる大型のカエルで、頭の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「クッククック」と鳴きます。

● メダカ



全長4cmくらいの淡水魚で、近年数が減ってきています。外来種のカダヤシとは、しりぞの大きさで区別できます。



外来生物

特：特定外来生物

● ミシシippアカミミガメ



幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとしてよく飼われます。捨てられたカメが増えています。

● ウシガエル 特



体長20cmにもなる外来種のカエルで、池や沼、湿地にすんでいます。「フオーブオー」と牛に似た声で鳴きます。

● カムルチー



雷魚とも呼ばれ、全長は1m近くになることもあります。空気呼吸ができるので、水質の悪い環境にも耐えられます。

● オオクチバス 特



ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広まった外来魚です。池や沼にいる他の魚を食べてしまいます。

● タイリクバラタナゴ



日本だけにすむニッポンバラタナゴとの間に雑種をつくり、その雑種が分布を広げていることが問題とされています。

● セイタカアワダチソウ



河原や空き地に群生する外来植物で、茎の高さは2.5mほどになります。10～11月に黄色い花を咲かせます。

● オオキンケイギク 特



北アメリカ原産の外来種で、現在は特定外来生物に指定されています。5～7月に黄色い花を咲かせます。

● オオフサモ 特



緑白色の葉を持つ水生植物で、原産地は南米のアマゾン川です。その繁殖力から特定外来生物に指定されています。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)